

アンテナユニットを取り付ける

アンテナユニットを取り付ける前に...

お願い

各種電子機器に近すぎると、性能に影響を与える場合がありますので、下記の例を参考に、各機器からなるべく離れた位置に取り付けてください。

- 例 ・ GPS、VICS など、他のアンテナからは 10 cm 以上離して取り付けてください。
- ・ ディスプレイユニットからは 20 cm 以上離して取り付けてください。
- ・ レーダー探知機は、特に影響を受けやすいため、異常探知とならない場所に取り付けてください。

メーカー純正のカーナビゲーションを搭載した車は、ダッシュボード内に GPS アンテナが埋め込まれている場合があります。その時は、GPS アンテナの真上を避けて取り付けてください。

また、取り付け後も GPS の受信感度が悪化していないことを確認してください。

アンテナユニットを取り付けるダッシュボード面の湿気、ゴミ、油などをよく拭き取ってください。

気温が低いときは、両面テープの粘着面とダッシュボードの貼付面をドライヤーなどで温めてから貼り付けてください。

お願い

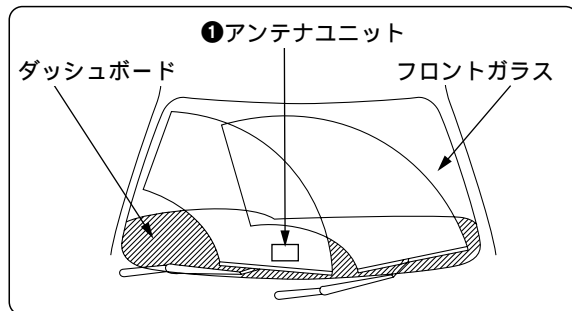
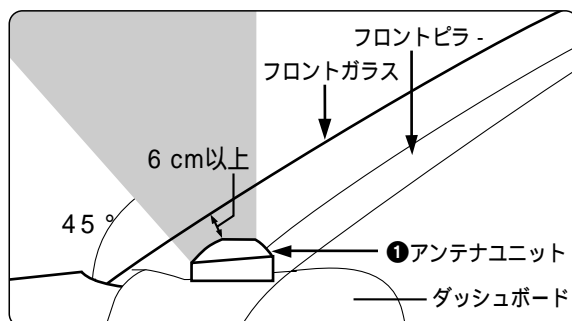
側面から見てアンテナユニットがフロントピラーの陰に入らない位置に取り付けてください。アンテナユニットの上側 45° よりも上の位置 (右図中の ■ 部) に障害物がないように取り付けてください。

(ただし、動いているワイパーがこの位置を通過するのは問題ありません)

フロントガラスとアンテナユニットとの距離は、6 cm 以上離して取り付けてください。

(近すぎると、通信性能に影響を与える場合があります)

上から見て、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。



アンテナユニットは必ず車室内に取り付けてください。

電波不透過ガラス装着車両および赤外線反射ガラス装着車両では、電波が受信できないことがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。

運転席から前方視界の妨げにならないことを十分確認の上取り付け位置を決めてください。

⚠ 注意

エアバッグ動作の妨げになる場所に取り付けない

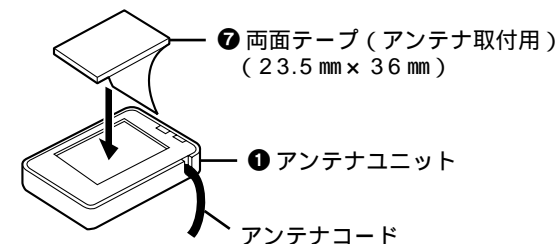


禁止

助手席にエアバッグシステムを装備している車に取り付ける場合は、エアバッグシステムの動作の妨げになる場所に取り付けないでください。

1 アンテナユニットの底に両面テープを貼り付ける。

底面の凹部に合わせて貼り付けます。



2 両面テープの裏紙をはがしてアンテナユニットをダッシュボード上に貼り付け (中央部 ± 40 cm) アンテナコードを配線する。

フロントガラス中央部付近に、アンテナコード側を車両前方に向けて、角度が水平 0° ~ 20° になるように取り付けます。(水平 0° ~ 20° に取り付けられない場合は、角度調整台座を使用してください。)

アンテナコードをダッシュボードとフロントガラスの隙間に入れ込みます。

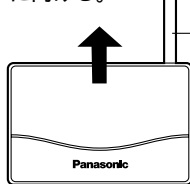
アンテナコードは右座席側に本体ユニットを取り付ける場合は、右側へ引き回します。

左座席側の場合は左側へ引き回します。

アンテナユニット

アンテナコード側を車両前方に向ける。

両面テープの裏紙をはがす。



アンテナコード

車両後方に向けても問題ありません。

④ 角度調整台座

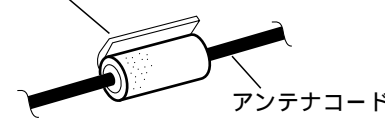
アンテナユニットが水平 0° ~ 20° に取り付けられない場合に使用します。(「アンテナユニットの角度調整」参照)

⑤ コードクランパー

必要に応じて利用してください。

アンテナコードに線材固定テープを巻いてダッシュボードとフロントガラスの隙間に入れます。(3ヶ所)

⑥ 線材固定テープ (隙間に合わせ、適宜カット)



アンテナコード

右ハンドル車で、運転席側に本体を取り付ける場合

左ハンドル車で、運転席側に本体を取り付ける場合

お願い

アンテナコードは確実にダッシュボードとフロントガラスの隙間に入れてください。

アンテナコードが露出し、切断などが行われた場合、ノンストップ自動料金支払いシステム (ETC システム) が使えなくなります。配線する際、断線・傷等にご注意ください。